
ニ・ン・・ギ・ヨ・ウ・・・

肥後

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ニ・ン・ギ・ヨ・ウ・・・

【Nコード】

N2278B

【作者名】

肥後

【あらすじ】

私は、休みの日を利用して、友達の家泊に行った時の話です・

（前書き）

警告！警告！警告！警告！心臓が弱い方、今回の作品はちょっとやめたほうがいいかも知れません。読み終えたかは、評価の方を一つよろしくお願いします。警告！警告！警告！警告！警告！

私は、友達の家泊りに行った。

友達は、日本人形が大好きだった。入り口、廊下、トイレなど至る所に、日本人形が置かれていた。

私は、初めて見る日本人形に奇妙に思えた。

「結構、奇妙だね・・・」

と、言った、その時！

目の前の人形が動いたように見えた。

「きゃー・・・」

と、叫ぶと友達が驚きながら、どうしたの？

と、聞いてきた。

「い、い、今、う、動いた。」

と、言う友達に、

「そんなはずないじゃん」

と、あっさり返されたのだった。

私は、不思議に思った。と、同時に恐怖を覚えた。

その日の夜、友達が寝たあと

「早く寝ないと・・・」

と、布団をかぶって寝ようとしていた。

その時だった！

ドアが（キィー、ギシギシ）と、音を立てて開いた。

私は、

「誰？」

と、思いながら布団から少し、顔を出すと・・・

日本人形が入り口、付近で動いていたのだ。

「ハッ！！」

声を上げてしまった。

すると一体の人形の髪の毛がどんどん伸び始めていた。

叫ぼうとしたが、金縛りにあっていて、声が出なかった。

髪の毛は、どんどん私に近づいてきた。

その時だった！！

伸びた髪の毛とは、別の髪の毛が首を絞めていた。

「う、うっ、うっ」

と、もがきながら髪の毛をほどいた。

その髪の毛をたどると・・・

なんと、布団の中に・・・

「人形！！」

まだ、声が出ない状態だった。

すると・・・

急にその人形の目が四方八方に動きだしたかと思うと、私の方に目が合った、すると、私をずっと見ていた。

恐くなり、布団を放り投げた。

すると！！

ドアの方で、倒れていたはずの人形が立って、目の前にいる。

全ての人形は、私を見ていた。

恐くなって、友達の所に逃げ込んだ。

逃げているうちに、声が出るようになった。

そして、すぐに友達を起こすと、眠そうな友達は

「うーん、な、何？」

と、言っただけで事情を説明しようとした・・・

そのとき！！

足元に、人形が私の足に抱きついてこう言った。

「ツレテ・・・カエ・・・ッテ・・・」

さらに友達は、平然とこう言った・・・

「あなた、人形に好かれているのは、あなたも人形になったら・・・」

「私が、人形にして・・・あ・げ・る・・・」

と、言うとき彼女はパジャマのポケットからナイフを取り出し襲ってきた。

ただ。

「キヤー!!」

と、叫びながら逃げ回った・・・
しかし、いつの間にか静かになっていた。

あれ?・・・

そして、私は布団から起きた。

「あれ?ここは・・・?」

友達は、

「大丈夫?よく、眠れた?」

と、聞かれて一応頷いた。

朝ご飯を食べに、茶の間に入ったが、人形の姿がどこにも無かった。
私は、友達に尋ねた。

「家にたくさんあった日本人形は?」

「なにそれ?」

と、返された。

やっぱり、夢だったんだ・・・。

と、安心した。

その日、家に帰ると・・・

さつきまで、友達の家にはいたはずの人形が、私の家の中に散乱していた。

よく見ると、母、父ともに死んでいた・・・

「もう逃げられないんだ・・・」

と、思った直後に私は殺されたのだった・・・

作者から一言

人形を・・・甘く見ると・・・あなたも、死に・・・

（後書き）

読み終えた方へ、作者の所は、恐怖感を少しでも上げるために書かれたものなので、その所、よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2278b/>

ニ・ン・・ギ・ヨ・ウ・・・

2010年10月11日17時32分発行